

私のゆめ

先生のような エレクトーン演奏



日吉小 六年 青柳みちよ
エレクトーンを習い始めて、もう二年。初めは全然手と足が合わなくて、先生にしかれながら、つらい練習が毎日、毎日続いた。

つかかって、何度もひき直す。すると母のきびしい声が、私の耳に、

「まちがえてひくと、先生にはすかしいでしょ。」

と、ひびく。でも私は、すぐにまちがえる。

まちがえないようにしても、まるで指が思うように、動いてくれない。

でも、私にもいつか先生のように、聞く人の心を、夢の世界へさそいこむような演奏が、できることを願っている。先生のように、指が鍵盤の上をすべるようにひけたら、どんなにうれしいだろう。

そして、大ぜいの人達の前で堂々と、演奏できたらどんなに楽しいだろう。

私は、そういう夢を持ってエレクトーンを、ひき続けたいと思う。

くいのない小学校 生活で高校大学へ



南条小 六年 林 健一
小学校の生活も六年めになり、

絵は辺見清隆(東陽小四年)の作
「目がさがっているので、クラスではタレめのめがねとよばれています。こんなめがねじまにいつてみたい。」



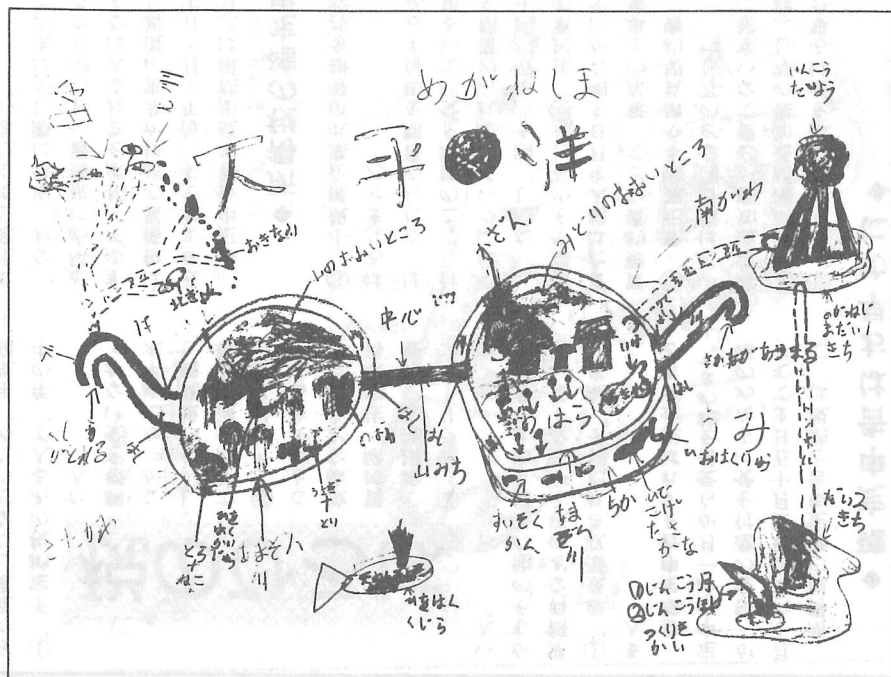
その六年めも三分の二まで終ってしまいました。

今までのぼくは、ちよつとおこりっぱかったが、これからはまず気にかけて友だちと仲よくしたいと思っています。

学習面でも今までより以上の努力をし、よい成果を得たい。

また、運動面でも一月一日の元旦マラソンから、ソフトボール大会と行事があります。この二つから手はじめにがんばって、自分のため、チームのためによい成績を残したい。従ってそれには自分自身の努力が必要です。そして練習の時は、まじめに楽しくやりたいと思っています。

あと四カ月もすれば中学生になります。学習面では、新しく英語がはいってきたりして大変です。クラブ活動も小学校の時よりもつ



と、もつとつきつくなるでしょう。途中で脱落せず最後までがんばらなくてはなりません。今までよりずっとこんなことが多く、それに耐え、進歩するようにいつそう努力しようと思います。

今、ぼくの頭の中には、楽しい思い出、いやな思い出などいろいろありますが、あとわずかな小学校生活を思いきり、ゆかいに楽し

ハムの資格で

外国人と通信を

日吉小 六年 越川 佳明
ぼくは、生まれつき何かものを